図書	図書種別		最小縮尺	記載事項	備考			考		
		1 計 画 概 要書	_	(様式8)						
		2 付近 見取図	適宜	縮尺、方位、計画敷 を主要道路の 位置、主要道名称、 主要道名称 で重要のの位置を を通機関のでは要別でででである。 種別では、 を選別では、 を選別では、 を選別では、 を選別では、 を選別では、 をでいるでいるでは、 をでいるでは、 をでいるでは、 をでいるでは、 をでいるでいるでは、 をでいるでいるでは、 をでいるでいるでは、 をでいるでいるでは、 をでいるでいるでは、 をでいるでいるでは、 をでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでは、 をでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるで						
		3 用途地域図	1/2,500	地の位置、地域地区の	○ 地域地区等の種別は、下表の区分により色別して示すこと。注)その他の地域地区等については、必要に応じて図示すること。					
					第一種低層住居専用力	地域	みどり			
					第二種低層住居専用出		薄みどり	建ペい率 及び 容積率	容積率 (%)	
(V)					第一種中高層住居専	·				
					第二種中高層住居専				建ペい率(%)	
					第一種住居地域		きいろ			
					第二種住居地域		薄だいだい	_		
					準住居地域		だいだい	第一種 高度地区	1	
	書				近隣商業地域		ももいろ	第二種	2 みどり	
					商業地域		あか	高度地区	()m 絶 ()ル ()ハッチ	
					準工業地域 むらさき		むらさき	第三種 3/ ○	$\begin{bmatrix} 3/ \end{bmatrix}_{\bigcirc m}$	
					工業地域		みずいろ	_		
					工業専用地域	或 あお 公園緑地			みどり太枠	
					注)その他の地域地	也区等に	ついては、	必要に応じて	図示すること。	
		4 周辺 状況図 図 I	1/1,500	I 縮尺、方位、計画 敷地の位置、位置の位置の位置の位置の位置の位置、位置を が幅員の位置、びは りのででである。 は りのででである。 は りのででである。 は りのででである。 は りのででである。 は りのでである。 は りのでである。 は りのでである。 は りのでである。 りのでする。 りのですである。 りのでである。 りのでする。 りのでである。 りのでである。 りのでである。 りのでである。 りのでである。 りのでする。 りのでである。 りのでする。 りのでである。 りのでである。 りのでである。 りのでである。 りのでである。 りのです。 りのです。 りのです。 りのです。 りのででもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもでもで	町 ○ 建築物の用途は、おおむね下記の区分により、建築物単位に色別して示す 也 こと。					
		及び 図 II				きいろ	I	場、作業場	あお	
						やまぶき	きいろ 倉	庫、車庫	はいいろ	
					店舗等兼用住 宅	おうどい	う	之校、図書館、 保育園等	きみどり	
					小売店舗、飲食 店等	だいだレ	いいろ	了公庁舎、公会 堂等	みずいろ	
					百貨店、興行場等	あか		i院、診療所等	みどり	
						むらさき	· 神	社、寺院、教 会	ちゃいろ	
					ホテル、旅館、 キャバレー、 パチンコ店 等	ももいろ	公	、園、緑地、運 動場	みどり(枠取、枠 内ハッチ)	
					分類できないものは	は、必要	に応じて図	示すること。		

			Ⅱ 縮尺、方位、計画 敷地の位置、周辺地 域の建築物の位置、 階数及び高さ					
5	5 現況図	1/300	縮尺、方位、敷地境 界線、前面道路の位置 及び幅員並びに既存 建築物の位置、主要用 途、構造、階数及び建 築年月					
6	6 配置図	1/300	縮尺、方位、敷地境 界線、建築物の位置、 主要部分の階数及び 高さ、前面道路の位置 及び幅員並びに公開 空地の位置等	○ 地形の高低差が著しい場合は、敷地	の主要部分の高低差を示すこと。			
	7 敷地 求積図	適宜		○ 敷地が複数の地域地区等にわたる場付記すること。	合は、それぞれの面積を求め一覧表を			
	8 各階 平面図	1/300	縮尺、方位、間取り 及び各室の用途等	 基準階については、一例で可 建築物が、2以上ある場合は、それぞれについて記載すること。 別に各階の用途及び床面積一覧表を作成し、一覧表には、建築面積及び建ペい率並びに延べ面積及び容積率を記載すること。 市街地住宅型、共同住宅建替誘導型及び都心居住型の各総合設計は、住宅の用途に供する部分をそれぞれ、次の区分に応じて色別して示すこと。・住宅の専用部分 → きいろ ・住宅の共用部分 → あお 業務商業育成型総合設計は、育成用途を次の色で色別して示すこと。・育成用途の専用部分 → あか 				
	9 立面図	1/300	縮尺、立面の方位、 建築物の外観、高さ制 限の位置及び許可要 綱の基本要件による 外壁後退距離の位置 等	○ いずれも2面以上記載すること。○ 断面図については、8の1階平面○ 左記の事項を併せて記載できれば				
	10 断面図	1/300	縮尺、各階の天井の 高と、地表面の位盤、 地盤面及び平均空地 面高低差並びにより の高通通路、アイ等の 貫通びピアナの で で で で で で で で の に き が で り り り り り り り り り り り り り り り り り り					
	11 公開・ 公共空 地等計 画図 図 I 及 び図 II	1/300	I 縮尺、方位、公開・公共空地等のを 開・公井空地等のの区分、公開・公開・公共を 分、公開・公共空地 等の覧表が 行者動線 II 縮尺、 園計画、付帯		して示すこと。 きいろ だいだいいろ みずいろ みどり あお			
			又は這園計画、行常施設表面仕上げ及びその他空地の性状を示す事項	○ 面積一覧表には、公開空地等の面積 地率並びに屋内貫通通路、アトリウム すること。○ 必要に応じて、透視図、断面図等を	ム及びピロティ等の面積の合計を記載			

別衣	計り甲i	請等に必要な物	MT凶青寺 	T	1
	斜線制限の許可に係る図書	12 日影図	1/500	の位置及び各部分の 高さ、敷地境界線、 地境界線から外側へ の水平距離 5 m及び 10 mの位置並びに 平均地盤面上4 m(平均地盤盾住居専用地 域又は第二種低層住 居専用地域の場合は、	 ○ 方位の確定方法を記載すること。 ○ 日影図は、縮尺1/500以上で可 ○ 日影時間図は、第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種住居地域又は準住居地域については、少なくとも2,2.5,3,4 時間、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域又は工業専用地域については、少なくとも、2.5,3,4,5時間の各時間日影線を記載すること。 ○ 建築物をモデル化する場合には、その方法を9の立面図等により図示すること。 ○ 計画敷地の北側の地域の地表面が著しく低い場合は、現地表面上の日影図を付記すること。 ○ 敷地の北側等に道路、水面等の空地がある場合は又は隣地等の地盤面が高い場合の緩和(以下「空地等による緩和」という。)を適用するときは、これを図示する。
		13 平均地 盤面算 定図	適宜	縮尺、建築物の各面において建築物が周囲の地面と接する位置及び平均地盤面の位置	建築物が、周囲の地面と接する位置に高低差がない場合は、省略も可。
		14 総合設 計許可 チェッ クリス ト			○ 交通上 自動車、歩行者及び駐車場の交通経路、容量調査○ 安全上 建築物の構造計画の概要○ 防火上 防災計画の概要○ 衛生上 計画建築物の日照、通風、採光の状況
(3)		15 法令、 要 網 ェ リ ク ト			○ 敷地面積及び敷地内空地の最低限度○ 前面道路の幅員及接道長○ 有効公開空地率の最低限度○ 外壁面の後退○ 公開空地等による割増容積率の限度
		16 斜線投影図	1/500	縮尺、方位、敷地境 界線、計画建築物の主 要部分の高さ、敷地境 界線の各辺における 計画建築物及び一般 建築物の斜線投影図 並びに斜線投影面積 一覧表	 ○ 敷地境界線は、原則として整形後のものを採用すること。 ○ 一般建築物の斜線投影図には、まわり込み道路幅員及び立ち上がり高さの算定式を付記すること。 ○ 2辺以上の辺の斜線投影面積を合計して比較する場合には、その理由(隣接地の土地の利用状況等)を示すこと。
		17 整形敷 地図	適宜	縮尺、方位、敷地境界線、整形後の敷地境界線並びに整形に係る隣接敷地の建築物の位置、用途及び階数	
(は)	北斜制の可係図側線限許にる書	18 日影図	1/500	縮尺、方位、建築物の 位置及び各部分の高 さ、敷地境界線、敷地 境界線から外側への 水平距離 5 m及び 1 0 mの位置並びに許 可要綱の緩和基準に 定める等時間日影線	

別表	き 許可申請等に必要な添付図書等							
(12)	絶高限許にる書対制の可係図	19 方位別 断面図	1/300	縮尺及び許可要綱の緩和基準に定める 各方位別斜線制限の 位置	○ 主要部分を数ケ所記載すること。 ○ 日影による緩和基準を適用する場合は、18の日影図を併せて提出すること。			
(ほ)	積率制限の許可	20 公開空 地等に よる割 増算定 説明書		公開空地等の市街 地貢献度の説明、希望 する割増容積率及び その算定説明等	○ 21については、公益施設等による容積率の割増を適用する場合に提出すること。 ○ 22は、東京における自然の保護と回復に関する条例(平成12年東京都条例第216号)及び同条例施行規則(平成13年東京都規則第39号)の規定による緑化面積が記載されたもので、環境局と都市整備局の両局の協議により作成された様式によるものとする。			
		21 公益施 設等概 要書		公益施設等の概要 及び市街地貢献度の 説明、希望する割増容 積率及びその算定説 明並びに維持管理等 の計画等	 ○ 23については、緑化指導担当課の審査が終了したものを提出するこ敷地規模等により、緑化計画書の提出義務がないものについては、省目 ○ 24は、環境性能係数・エネルギーの面的利用の検討等適用に関するエックシートとする。 			
		22 緑化計 画に関 するチ ェック シート						
	に 係 る 図	23 緑化計 画書等 の写し		東京における自然 の保護と回復に関す る条例(平成12年東 京都条例第216号) に基づき知事に届け 出た緑化計画書の写 し				
	書	24 カーボ ンナス 和 す エシ ト						
(~)	その他	26 特定行 政庁の 指図 等		方位、縮尺、計画建 築物及び計画地の地 形、地物及び土地利却 が出りのでは、地域を がいるでは、 がいるでは、 がいるでは、 がいるでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	○ 模型等の大きさは、計画建築物の規模内容に応じて適当なものとすること。○ 屋外広告物の配置図、デザイン図 (着色したもの)、平面図及び立面図を提出すること。			

注:添付書類については、協議の上、複数の図書を併せて作成することができる。